

大俣小だより

3月号

「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成



まとめと準備の季節

「1月往ぬる 2月逃げる 3月去る」といいます。年が明けてから3月までは、あっという間に過ぎさってしまうことをいったものです。

いよいよ今年度のまとめとなる3月を迎えます。子供たちの成長には、一人一人のがんばりと努力がありました。そして、それを支えてくださった多くの方々の励ましがあったことと思います。ぜひ、ご家庭でも、卒業や進級を前に1年間を振り返り、お子様の成長をいっしょに喜んでください。そして、新しい学校、新しい学年に向けて、子供たちとともに準備をお願いいたします。

令和6年度の学校教育活動については、今年度の学校評価を基に、次年度に向けて教育課程を編成しているところです。大俣小学校、地域のよさを生かしながら、予測困難な未来、社会に生きる子供たちに必要な資質・能力を身に付けられるように、さらなる改善を進めていきたいと思っております。

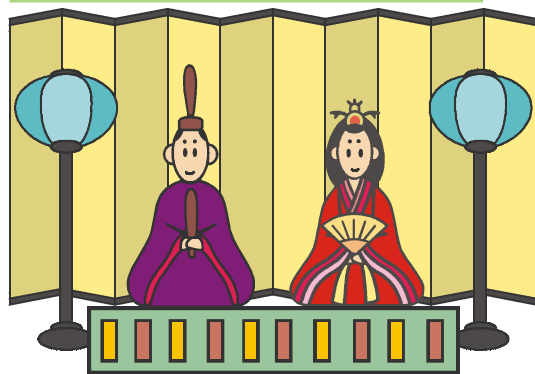
この1年間の教育活動を振り返ったとき、学校での学習指導や生活指導において、成果が出たことと同時に不十分な点もありました。しかし、様々な活動の場面を通して、素直にがんばる子供たち一人一人の姿に、教職員は励まされ取り組むことができました。子供たちに大きな拍手を送りたいと思っています。また、紙面で失礼ながら、改めて保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご支援に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

特別支援学級について

特別支援学級では、得意なことを伸ばしたり、苦手なことをゆっくりできるようにしたり、子供の特性に合わせて授業展開をします。また、学習だけでなく日常生活や社会生活に必要なスキルの指導もするので、将来自立した生活に近づけられます。

来年度は、特別支援学級（肢体不自由）が増設されます。そのため、春休み中に教室の配置を変更します。

4月に改めて、教室の場所をお知らせしますので、ご承知おきください。



卒業おめでとうございます

14日（木）には、13名の6年生が卒業します。卒業生と保護者の皆様に心からお祝い申し上げますとともに、子供たちへの指導・支援に関わってくださった多くの方々へ厚くお礼申し上げます。

これから進む道は異なりますが、大俣小学校で学んだよき伝統を忘れず、一人一人が自分の個性を生かして活躍することを期待しています。